

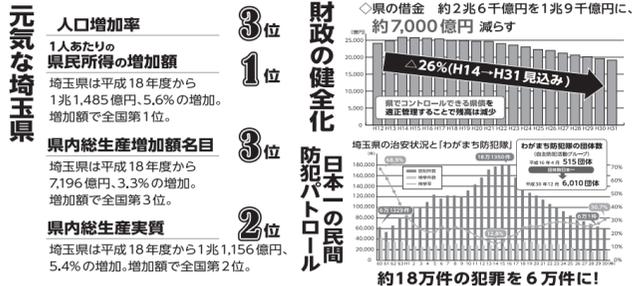
令和元年10月27日執行

# 参議院埼玉県選出議員補欠選挙公報

(選挙すべき議員の数1人)

埼玉県選挙管理委員会

## 上田県政が変えた16年



**私たちが全力で応援します**

埼玉県を劇的に変えた力!  
埼玉を発展させた実行力!  
国政時代も群を抜いた改革力!

市長 大野 元裕  
町長 石木 戸道也  
副町長 清野 谷野

## 国政と県政のかけ橋となる4大政策!!

**地方重視の政治の実現!!**  
—地方分権改革の推進—

持続可能な社会保障制度の構築や少子化対策等の解決に向け、地方の権限と裁量の拡大を進め、前例にとらわれないことなく国と地方が大胆かつ柔軟に連携できる体制を構築します。

**暮らしの中の困ったこと** 県や市町村では

安全な道にしたい 住人が減ってしまっ 役所も遠くて不便

たかさんの人が使うし 安全な道にしたい

なんとしたけど 国のルールで決まってる 国ではできない 県や市町村ではできないことが多い

**地方分権改革** 県や市町村がやることを国ではなく自分たちで決められるようにする

**徹底した行財政改革!!**  
—第三次臨時行政調査会の設置—

行政課題や住民ニーズが高度化・多様化する中、国と地方が一体となって行財政改革に取り組む仕組みづくりが必要で、第三次臨時行政調査会(臨調)を設置し、国と地方や党派の垣根なく、産学官民の英知を結集して改革に取り組みます。

古の賢人は行政機構は自然に膨脹することを知り、各役所の名前を大蔵省、民部省、刑部省などと「省(はぶく)」ことを示していた。つまり、行財政改革は政治の本質である。

**日本版SDGsモデルの推進!!**  
—誰ひとり取り残さない社会の実現—

地域が直面する社会課題に対し、国、自治体、民間企業、市民団体そして住民が連携することで、誰ひとり取り残さない、持続可能な地域づくりを確立し日本版SDGsモデルを世界に発信し国際社会への貢献を目指します。

**上田 無所属**

きよし

**プロフィール**

○昭和23年、九州福岡県生まれ。○法政大学法学部卒、早稲田大学大学院政治学研究所修了。

○新自由クラブ立党に参画、同党政策委員、全国青年局長、政策科学研究所政策委員。1980年新自由クラブより衆議院議員選挙出馬、4連敗するが不屈の闘志で5度目の1993年初当選、以後3期連続当選。衆議院議員2期目は小選挙区選出300人中、議員立法・質疑回数1位。3期目選挙目前、小泉総理(当時)をして「誰が相手でも勝つ自信はあるが、上田清司だけはご免こうむる」と言わしめた。「選挙の鉄人」という異名もある。また、平成15年2月、塩ジイこと塩川大蔵大臣の「母屋でお粥をすすっていたが、離れてスキヤキを食べていた」という特別会計の例えは、上田清司代議士の質疑に共感して答弁した有名なセリフである。

○平成15年8月、民主党を離党し、無所属で知事選に出馬、2位に約ダブルスコアで当選。平成19年、平成23年平成27年4期連続当選。この間、総務省顧問、拓殖大学大学院客員教授、内閣府地域主権戦略会議委員、全国知事会東日本大震災復興協力本部長、北朝鮮による拉致被害者を救出する知事の会会長、全国知事会会長など歴任。

**健康立国の実現!!**  
—持続可能な社会保障制度の確立—

生産年齢人口の割合は、2040年頃には世界の主要国の中で最低水準になると予測されています。しかし、健康寿命の延伸を図り、74歳まで生産年齢として活躍できる社会を実現できれば、その割合は最高水準に匹敵します。国民生活の質(QOL)の向上を図りつつ、社会保障制度の持続可能性を高めるとともに、社会に活力をもたらす「健康立国」を実現します。

私は、NHKから国民を守る党党首立花孝志(たちばな たかし)と申します。

18歳の時(昭和61年)にNHK職員になりました。当時のNHKには、給与が安くても正義感・使命感・責任感がある立派なNHK職員がたくさんいました。その後バブルが起ころ、NHKは政治家と親しい政治部記者(高圭次元会長や海老沢勝二元会長を会長にする)ことで、国会で大幅な受信料値上げと衛星受信料の新規設定が承認されました。この大幅値上げと衛星受信料を原資として、NHK職員の給与はドンドン増えて行きました。

私が34歳(平成14年)の時には年収が約1150万円もありました。その後もNHK職員の人員費は年々増額され続け、今では約1750万円(約1754億円)の人員費が使われています。一方で高額の給与をもらい続けているNHK職員は犯罪ばかりしています。2004年に発覚した紅白歌合戦のチーフプロデューサーによる約2億円の横領事件の調査チーム(本部編成局)に在籍していた私は、NHK内部の犯罪の多さや金額の大きさに驚愕しました。そしてその多くの犯罪を隠蔽しようとするNHKの役員や職員達(もちろん当時は私の先輩や同僚)の姿に驚きました。[NHKという組織は、平気で国民にウソをついたり不正を隠蔽する組織なのです]

私も家族が居たのでNHKを辞める訳には行かず、他のNHK職員と同じようにNHKの不正を隠蔽してしまいましたが、しかし私はすぐに心の病になってしまいました。自分や家族を守る為にNHK職員になった訳ではない、国民を守る為にNHK職員になったのだ、という強い正義感と使命感と責任感が私にはありました。そんな私は2005年4月14日号の週刊文春で内部告発をしました。そんな私は2005年4月14日号の週刊文春で内部告発をしました。

タイムルは「NHK現役経理職員、立花孝志氏懺悔告白」私が手を染めた裏金作りを全てお話しします。私の捨て身で内部告発(文春砲)はテレビがまったく報道しなかった。私ので発に終わってしまいました。その後NHKを退職し、心の病が治らず何度も自殺を考えましたが、自殺する勇気がなかった。自決できないならトコトンNHKと闘ってやる」と決意し、6年前にNHKから国民を守る党を立ち上げました。

**NHKから国民を守る党**

立花孝志

**お守りする立花孝志**

- NHK 徴収員のしつこい訪問行為でお困りの方
- NHK から定期的に支払いや契約を促す郵便が届いてお困りの方
- 衛星放送なんて観ていないのに衛星料金を支払っている方
- 受信料を引き落とししているため、受信料の不払いを諦めてしまっている方
- NHK から裁判するぞ!と脅かされている方

私は、まず、消費税を5%にもどしたいと思えます。消費税率を下げれば、税収は増えるのです。消費税率を下げると税収が増える理由は簡単で、景気がよくなり国全体の税収が増えるからです。「税率下げた税収アップ」「気軽に買い物・安心老後」これが私の消費税に対する考え方です。

次に、スマートフォンに対する助成金の支給です。子供が中学生になったらスマートフォンが必要ですね。スマートフォンがなければ災害時に困ります。家族との連絡や避難情報の入手にスマートフォンは必要です。政治家の一番の使命は、国民の安全と生命と財産を守ることです。だから、現代の日本に必要なアイテムはテレビではなくスマートフォンです。したがって、国がスマートフォンの購入費を助成するのは当然だと考えています。

この他にも、電動アシスト機能付き自転車の購入費を助成する政策を実現したいと思っています。

**既得権益をぶっ壊す!**

**NHKから国民を守る党**

**10月27日(日)は投票日**

**大切にしましょう。あなたの一票!**

**18歳から投票できます。**

投票時間 午前7時から午後8時まで  
(投票所により異なる場合があります。)

期日前投票期間：10月11日(金)～10月26日(土)  
午前8時30分～午後8時

※ 期日前投票所により、期間・時間が異なる場合があります。  
詳しくは、お住まいの市区町村の選挙管理委員会へお問い合わせください。

埼玉県選管  検索

埼玉県選挙管理委員会

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

# 投票日 10月27日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで (投票所により異なる場合があります。)

## 大切にしましょう。あなたの一票!



**18歳から投票できます。**

仕事や旅行などのため投票日に予定がある方は、期日前投票をご利用ください。詳しくは、お住まいの市区町村選挙管理委員会へお問い合わせください。

**期日前投票期間 令和元年10月11日(金)～10月26日(土)**

投票時間 午前8時30分から午後8時まで (期日前投票所により異なる場合があります。)

埼玉県選挙管理委員会